



羅針盤

発行：サイクラーズ株式会社（旧名 東港金属グループ）
 編集：サイクラーズ株式会社東京事務所（経営企画部）
 東京都品川区南大井6丁目17番17号 U biz大森2階
 電話：03-6410-8797
 URL：https://www.cyclers.co.jp/

*8月です。今月は台風・猛暑と自然との闘いが暫く続くでしょう。世界各地の異常気象が各地で普通に起きていることは、やはり地球温暖化の影響を考えずにはいられないと思われます。それがいつ、どこで起こるかは分かりません。台風発生など、進路が予測出来るものは対策や、避難も出来ますが、7月3日の突然起きた熱海市伊豆山地区の土石流災害は、ニュースでリアルな破壊力を見せられ息を飲みました。毎年梅雨末期に起きる集中豪雨は日本国内だけでなく、特に今年は中国や西欧でも想像を絶する洪水が起こり、市街地を走る地下鉄のトンネル内へも浸水して命を落とされた方が多数おられました。一方北米では猛暑となりカリフォルニアでは56℃の記録も出たとのこと。被災された方々には心からお見舞いを申し上げます。ただそれは、明日の自分かもしれません。コロナ禍はワクチン接種で少しは愁眉を開く光明も見え隠れし始めましたが、自然災害への荒天準備も忘れず。家族で、会社で考えましょう。熱中症対策も準備の一つですね。

Market Forecasts by Y. san -8月-

7月予測の自己評価 鉄スクラップ：× 銅：○ アルミ：×

鉄スクラップ

鉄価格の指標となる東京製鉄宇都宮工場特級価格は7月が据え置きで490,000円/トンのままでした。しかし7月9日の関東鉄源協同組合の輸出入札の平均価格が5ヶ月ぶりに下落。市中の発生減を考えても8月はお盆明けから下がると考えられます。

銅

7月はLME9,360ドル台/トン、国内銅建値1,090,000円/トンでスタートし、後半中国河南省の洪水や円安によりLME9,500ドル台/トン、国内銅建値も1,110,000円/トンまで上昇しました。8月も上がると考えられます。

アルミ

7月はLME2,500ドル台/トンでスタートし、29日時点では2,500ドル台/トンで変わらず。現状Aサッシや缶プレス等良質な上物は価格が上昇しているが、スノ物は値が下がっており、上物とスノ物との価格差が広がっています。8月に至っても横ばいでしょう。

産業廃棄物

廃棄物に関しては、相変わらず主要都市は建設現場の動きが悪く、オフィスの廃棄物の発生が少なく、オリンピックも無観客の為、廃棄物も減り業者にとっては今が正念場でしょう。救いは金属スクラップの価格が高いことです。有価物を分別して高く売ることをお勧めします。

Topics

プラスチック新法

プラスチックごみの削減とリサイクルを促進するために、いわゆる「プラスチック新法」(プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律)が本年6月4日の参院本会議で全会一致で可決、成立致しました。今回はプラスチック新法について主に環境省の資料を参考に、ご説明いたします。

本法は、プラスチック使用製品の設計から廃棄物処理に至るまでのライフサイクル全般に関わるあらゆる主体が、プラスチック資源循環等の取組「3R(リデュース・リユース・リサイクル)+Renewable(再生可能)」を促進するための措置を講じ、サーキュラーエコノミーへの移行を加速するという内容です。

ライフサイクルの各段階における個別の措置事項は次の通りです。

①設計・製造段階(プラ製品の設計を環境配慮型に転換)

プラ製品の環境配慮設計に関する指針に即した環境配慮製品を国が初めて認定し、消費者が選択できる社会へ



- 製造事業者等向けのプラスチック使用製品設計指針(環境配慮設計指針)を策定するとともに、指針に適合したプラスチック使用製品の設計を認定します。
- 国等が認定製品を率先して調達することやリサイクル設備を支援することで、認定製品の利用を促します。

②販売・提供段階(使い捨てプラをリデュース)

小売・サービス事業者などによる使い捨てプラの使用を合理化し、消費者のライフスタイル変革を加速



- コンビニ等で、商品やサービスとともに消費者に無償で提供されるスプーン、フォークなどのプラスチック製品を削減するため、提供事業者に対し、ポイント還元や代替素材への転換の使用の合理化を求める措置を講じます。
- これにより、消費者のライフスタイル変革を促します。

③排出・回収・リサイクル段階(排出プラをあまねく回収・リサイクル)

あらゆるプラの効率的な回収・リサイクルを3つの仕組みで促進



- 市町村が行うプラスチック資源の分別収集・リサイクルについて、容器包装プラスチックリサイクルの仕組みを活用するなど効率化します。
- 使用済プラスチックについて、製造事業者等の計画を国が認定することで廃棄物処理法上の許可を不要とする特例を設けます。
- 産業廃棄物等のプラスチックについて、排出抑制や分別・リサイクルの徹底等の取組を排出事業者を求める措置を講じるとともに、排出事業者等の計画を国が認定することで廃棄物処理法上の許可を不要とする特例を設けます。

Series

私の休日(3)



生産技術部 大野 敏明

こんにちは。3千葉工場生産技術部の大野です。3回目の投稿です。前回末尾にご紹介した梅干し造りも無事に終わりました。今回は、ものづくり体験教室についてお話ししていきたいと思えます。

16年程前から、妻の趣味であるガラス彫刻(サンドブラスト)の体験教室を二人で開いております。きっかけは、千葉県こどもの国(現キッズダム)が、園内に「ものづくり体験教室」のブースを設け、子供から大人まで様々な体験をして頂きたいと、私が会員となっている市原市工芸会に話がありました際に、賛同し始めました。体験教室の出店は、土日祝祭日がメインで行っており、会員の方で都合の合う方が出店する形で開いております。私たちは不定期で月1回から2回の体験教室を開いております。

素材は、ワイングラス・皿・鏡等のガラス製品を使い、素材にビニールテープを全体に貼ってもらい、その上に自由にデッサンをしてもらう工程です。(小さいお子さん用にシールを貼るだけでデッサン出来る工夫しました)

次にデッサンした線をカッターで切り取る作業をしてもらいますが、体験者が怪我をしない様に注意を払いながら指導し、カット作業を行ってもらい、自分の作品を作り上げる楽しみを感じてもらえるように心掛けております。最後にサンドブラスト機で、細かい砂を吹き付けガラスの表面を削り仕上げます。薄いガラスに吹き付け過ぎて穴が開く事もあるので繊細さが必要です。

5歳くらいの男の子がぶどうの木を描いた時には「アッ」と息を飲むくらいの出来上がりに感動と感性の豊かさに驚かされたことを今でも覚えております。

この感動が癖になり今日まで体験教室を不定期ですが出店しております。

お子さんが体験している時に、黙って自由にさせる親と意見を挟む親の二通りのタイプに分かれますが、前者のお子さんの方が思いの入った素敵な仕上がりに感じられます。これからも体験教室を通して様々な感性との出会いを楽しみに続けて行こうと思っています。

次回、最終回へつづく



大野作品